

## 2014 国際教養科 NEWS 2月

### アメリカ大使館副領事 Mr. Cameron Johns 講演会(2/12)

2/12 (木) に、アメリカ大使館副領事のキャメロン・ジョーンズ氏を講師として国際教養科1～2年生全員(83名)と普通科1～2年生希望者16名を対象にした講演会を行いました。“Be a Global Leader and Opening the Door To Your Study in the U.S.”という演題でご講演いただき、アメリカ留学のメリットや、アメリカ留学の仕方、ビザについてなど、具体的にお聴きしました。講演は全て英語で進められましたが、司会進行も国際教養科2年生有志が担当して、流暢な英語で進行してくれました。また、公演後も活発に質問が出され、時間が足りずに質問を途中で切り上げてもらわなければなりません。具体的に、アメリカ留学を考えている生徒も複数いたため、熱心にお話しをお伺いする様子が印象的でした。解散後もキャメロン氏の周りを生徒達が取り囲み、生徒達の様々な質問に答えていただきました。また生徒の感想文からもこの講演会が、アメリカ留学への大きな刺激になったことがうかがえました。



- 1 目的 日米両政府の2020年に向けた留学生倍増計画も始動していることから、グローバルリーダーの育成と国際理解教育の一環として、またグローバル人材としてキャリアプランを考えるヒントとして、領事との交流から学ぶ
- 2 実施日時 2月12日(木) 13:00～13:40 (梶の葉ルーム30番教室にて)
- 3 内容 35分(講演)+5分(質疑応答、司会生徒お礼の言葉)
- 4 参加生徒 国際教養科1～2年生全員(83名)普通科1～2年生希望者(16名)
- 5 講師 Mr. Cameron Johns,  
Vice Consul, Embassy of the United States of America, Department of State
- 6 演題 “Be a Global Leader and Opening the Door To Your Study in the U.S.”
- 7 事後指導 感想文の提出



・10年前には、日本人学生のアメリカ留学は世界 No. 1 だったというのに、今は大分減ってしまっているというのが残念だと思った。オバマ大統領と安倍総理の会議の中で、日本人留学生が減っていることについて話し合われるというのがびっくりした。将来を背負うのは私達若者であるから、若いうちに英語だけ、Native English の環境で学ぶことはとても大切だということが分かった。日本とアメリカの関係はともしっかりしている。もっとよくするには、人と人の対話 Communication が本当に大事だということがわかった。実際にアメリカへ行って、たくさんの人と交流し、アメリカの文化、生活 style、英語などにたくさん触れ、私達も日本の文化や日本語を教え合うことで、お互いの理解も深め、より良い関係になっていけると思う。 (2年国際 S・A)

・日本はアメリカに世界第7位の留学生を送っていることが意外と多いと思った。中国、インドが1位、2位なのは、人口爆発のためで、仕方がないことだと思った。留学場所1位カリフォルニア、2位ニューヨーク、3位テキサス 自分が行くならカリフォルニアへ行きたい。オバマさんと安倍さんは2020年までに1万9千人から2倍に増加させたいとしているが、もっと多くの学生に留学して欲しい。彼は日本人の学生に留学に来て欲しいと何度も主張していた。日本とアメリカの将来を担うのは、私達の世代です。国際科は他の人たちより様々な活動をしてきたので、機会があれば大学に入った後でも留学を考えたい。 (2年国際 M・S)

・留学といえばアメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスなどが浮かびますが、留学したいという気持ちの反面、コミュニケーションの問題や治安の良さや、遠いという様々な壁にぶつかります。私も留学したい気持ちはあるけど、英語が少し心配という思いがあるので、とても共感しました。しかし、今アメリカと日本はお互いに交換留学生の数を増やそうとしているようです。首相や大統領が留学を勧める1番の理由は、アメリカに渡って日本の文化(食べ物、言語、漫画などの日本の文化)を教えて欲しいということでした。そのことによって、グローバル化が促進されるということでした。私もその考えには共感しました。生の交流があることによって芽生えるもの、促進するものがあるはずです。ビザの取り方の説明もありましたが、思っていた以上にとてもとても簡単でびっくりしました。やはり、留学をしてみても良いかなと思いました。 (2年国際 Y・M)

・日本国内でも県によって習慣や伝統、言葉に違いがあり、海外でもアメリカの州によって様々な違いがあるのに、日本で身の回りのことしか見ず、学ばずにいるのはもったいないと思いました。自分が何を知りたいのか、学びたいのか、もっとグローバルな視点から視野を広げて考えて見たい

です。今日のお話を聞いて、前向きな気持ちになりました。だから、自分からもっと調べてみたいです。  
(1年国際N・A)

・ただ「アメリカへ行きたい」という気持ちだけでなく、「アメリカのこの州のこの大学で勉強したい」という具体的な理由も必要だと思った。学生のうちにぜひもう一度海外留学を経験したい。

(2年普通科T・Y)



・グローバルリーダーを目指すには、自立心も大切だと分かり、将来的には英語オンリーの環境に身を置きたいと思う。Mr. Johns は私達に分かりやすい英語ではっきり言ってくれたおかげでよく理解できた。アメリカの西部、東西部、東部、南部で文化、食事、言葉が違うということに一番興味を持った。

(2年普通科O・H)

・もっと英語を勉強してアメリカで暮らせるくらいになりたい。勉強する意欲が高まった。

(2年普通科K・J)

・コミュニケーションは言葉じゃなくて、文化、人、歴史、伝統などを理解するためのものだと分かった。アメリカには3000校ものたくさんの大学等の高等教育があり、様々な事が学べる。アメリカの文化や自然、スポーツ、音楽なども学びに来て欲しい。分かりやすい英語で話してくれたので、よく分かりました。ありがとうございました。

(1年国際Y・M)

・大使館の仕事や組織について詳しく知ることができた。普段はあまり縁のない職業なので、とても興味深かった。アメリカも日本と同じように、地域によって特色があるのだと知った。日本人も多く住んでいて、有名な企業が進出している。アメリカへの留学生は、世界から88万人ととても多く、現在は中国からが一番多い。大学は日本と同じように2年制大学、4年制大学と分かれる。貴重なお話しが聞けて良かった。将来のためにとっても参考になった。

(1年普通科N・A)

・大使館は日本とアメリカを繋ぐ大切な機関だということがわかった。大使館には、様々な部と省があることがわかった。NASAもその中の1つだったとは驚きだ。もし、パスポートをなくした場合は大使館に行けばよいと分かった。世界と繋がるグローバル人材には、語学力、自立心などが必要だということが分かったので、留学をする前に磨いていきたい。特にコミュニケーションが1番大切！学生ビザの面接は英語だけではなく、日本語などでもできるし、英語の質問も簡単なものだったので、心配はいらないと思った。留学は不安なこともたくさんあるけど、今日の話聞いてそんな心配はいらないと思った。

(1年普通科M・S)

・英語を使ったコミュニケーションは、これからの日本に恐らく最も重要になってくると思うので、アメリカ留学することは良い機会になる。去年アメリカ語学研修で、コミュニケーションが上手くとれない苦しみを覚えて、もっと話せるようになりたいと感じた。英語を話せることでできることがすごく増える。

(2年国際M・K)

